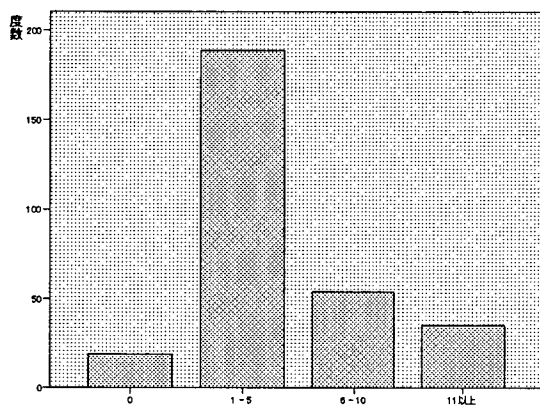


7.あなたが、昨年度1年間に出席した学会、研究会、研修会は何回でしたか。

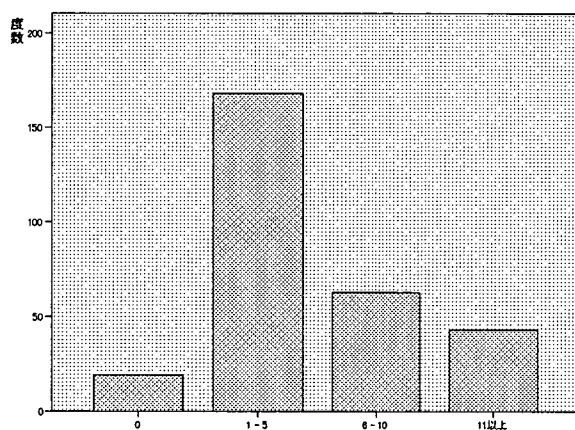
一年間に出席した学会、研究会、研修会は、平均6.1回(最小値0回、最大値100回)で、「1-5回」60.4%が最も多かった。「0回」も6.1%あった。



	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
0	19	6.1	6.4	6.4
1-5	189	60.4	63.6	70.0
6-10	54	17.3	18.2	88.2
11以上	35	11.2	11.8	100.0
合計	297	94.9	100.0	
欠損値	16	5.1		
合計	313	100.0		

8.昨年度1年間に、施設内(院内)で実施された高齢者医療に関連する研究会、研修会は何回でしたか。

1年間に施設内で実施した高齢者医療に関連する研究会、研修会は、平均6.1回(最小値0回、最大値60回)で、「1~5回」53.7%が最も多かった。「0回」も6.1%あった。

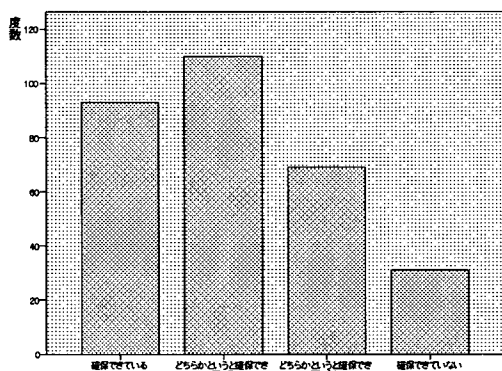


	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
0	19	6.1	6.5	6.5
1-5	168	53.7	57.3	63.8
6-10	63	20.1	21.5	85.3
11以上	43	13.7	14.7	100.0
合計	293	93.6	100.0	
欠損値	20	6.4		
合計	313	100.0		

9.研修など勉強のための時間を確保できていますか。

(1.確保できている 2.どちらかというと確保できている 3.どちらかというと確保できていない 4.確保できていない)

研修など勉強のための時間は、「どちらかというと確保できている」35.1%が最も多く、次に、「確保できている」29.7%で、合わせると全体の64.8%を占めた。一方、「確保できていない」という回答も9.9%あった。

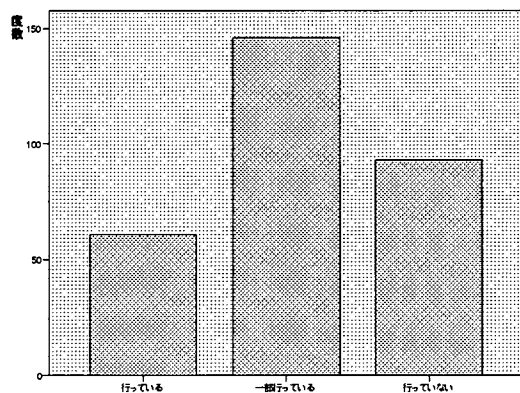


	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
確保できている	93	29.7	30.7	30.7
どちらかというと確保できている	110	35.1	36.3	67.0
どちらかというと確保できていない	69	22.0	22.8	89.8
確保できていない	31	9.9	10.2	100.0
合計	303	96.8	100.0	
欠損値	10	3.2		
合計	313	100.0		

10.あなたは総合的評価法を行なっていますか。(総合的評価法とはさまざまな機能評価を組み合わせ、医療ケアを決定していく手法のことです)

(1 行なっている 2 一部行なっている 3 行なっていない)

総合的評価法は、「行なっている」20.3%で、施設長の回答結果の「行なっている」32.9%と比べ差がみられた。「一部行なっている」を合わせると医師、施設長共に約60%であった。



	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
行なっている	61	19.5	20.3	20.3
一部行なっている	146	46.6	48.7	69.0
行なっていない	93	29.7	31.0	100.0
合計	300	95.8	100.0	
欠損値	13	4.2		
合計	313	100.0		

11.看護師、ソーシャルワーカーなどとのチームミーティングを定期的に行っていますか。(はいの場合は頻度を一つ選んでください)

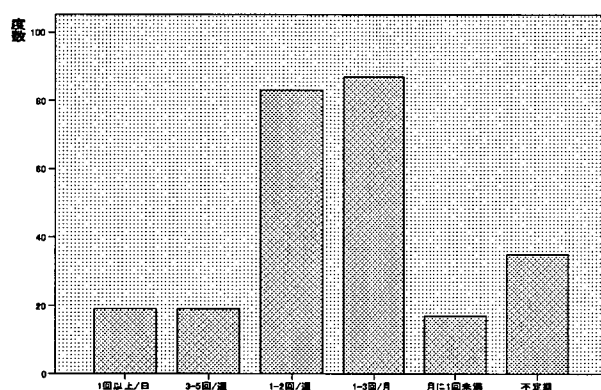
(1. はい 2. いいえ)

(頻度: ①1回以上/日 ②3~5回/週 ③1~2回/週 ④1~3回/月 ⑤月に1回未満 ⑥不定期)

看護師、ソーシャルワーカーなどとチームミーティングを定期的に行っているのは84.7%であった。

頻度は、「1~3回/月」27.8%が最も多く、次に「1~2回/週」26.5%であった。「1回以上/日」6.1%という回答もあった。

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
はい	265	84.7	86.9	86.9
いいえ	40	12.8	13.1	100.0
合計	305	97.4	100.0	
欠損値	8	2.6		
合計	313	100.0		

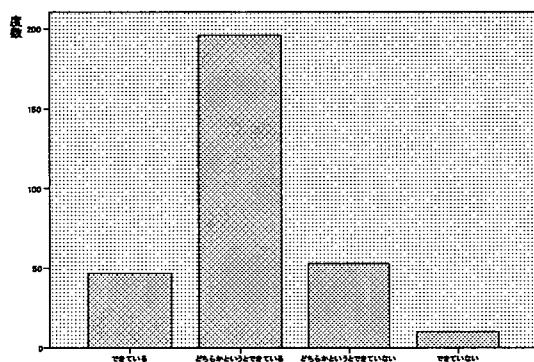


	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1回以上/日	19	6.1	7.3	7.3
3~5回/週	19	6.1	7.3	14.6
1~2回/週	83	26.5	31.9	46.5
1~3回/月	87	27.8	33.5	80.0
月に1回未満	17	5.4	6.5	86.5
不定期	35	11.2	13.5	100.0
合計	260	83.1	100.0	
欠損値	53	16.9		
合計	313	100.0		

12.チーム医療が適切に実践できていると思いますか。

(1.できている 2.どちらかというとできている 3.どちらかというとできていない 4.できていない)

チーム医療が適切に実践できているかどうかは、「どちらかというとできている」が62.6%で最も多く、次に「どちらかというとできていない」16.9%であった。「できている」と「どちらかというとできている」を合わせると77.6%で、全体の約8割を占めた。

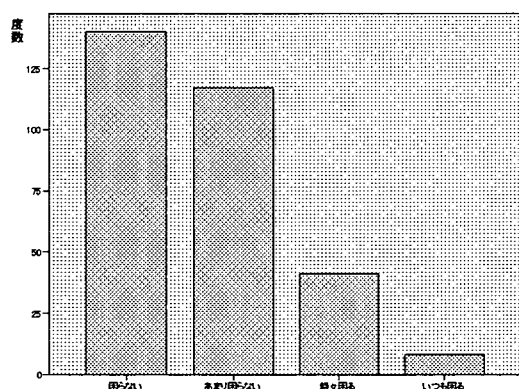


	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
できている	47	15.0	15.4	15.4
どちらかというとできている	196	62.6	64.1	79.4
どちらかというとできていない	53	16.9	17.3	96.7
できていない	10	3.2	3.3	100.0
合計	306	97.8	100.0	
欠損値	7	2.2		
合計	313	100.0		

13.歯科の診察を依頼するときに困ることはありますか。

(1 困らない 2 あまり困らない 3 時々困る 4 いつも困る)

歯科の診療は、「困らない」44.7%が最も多く、「あまり困らない」37.4%を合わせると82.1%であった。一方、「いつも困る」は2.6%であった。

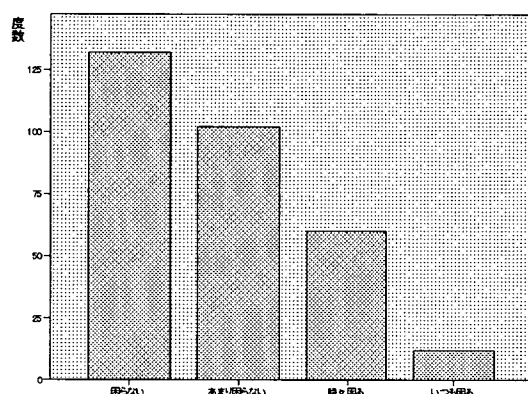


	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
困らない	140	44.7	45.8	45.8
あまり困らない	117	37.4	38.2	84.0
時々困る	41	13.1	13.4	97.4
いつも困る	8	2.6	2.6	100.0
合計	306	97.8	100.0	
欠損値	7	2.2		
合計	313	100.0		

14.整形外科の診察を依頼するときに困ることはありますか。

(1 困らない 2 あまり困らない 3 時々困る 4 いつも困る)

整形外科の診療は、「困らない」42.2%が最も多く、「あまり困らない」32.6%を合わせると 74.8%であった。一方、「いつも困る」は 3.8%であった。

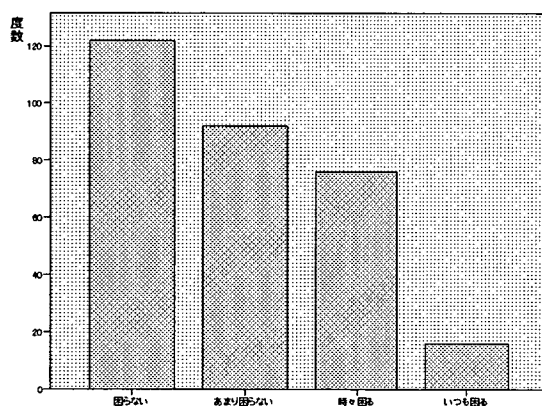


	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
困らない	132	42.2	43.1	43.1
あまり困らない	102	32.6	33.3	76.5
時々困る	60	19.2	19.6	96.1
いつも困る	12	3.8	3.9	100.0
合計	306	97.8	100.0	
欠損値	7	2.2		
合計	313	100.0		

15.皮膚科の診察を依頼するときに困ることはありますか。

(1 困らない 2 あまり困らない 3 時々困る 4 いつも困る)

皮膚科の診療は、「困らない」39.0%が最も多く、「あまり困らない」29.4%を合わせると 68.4%であった。一方、「いつも困る」は 5.1%であった。

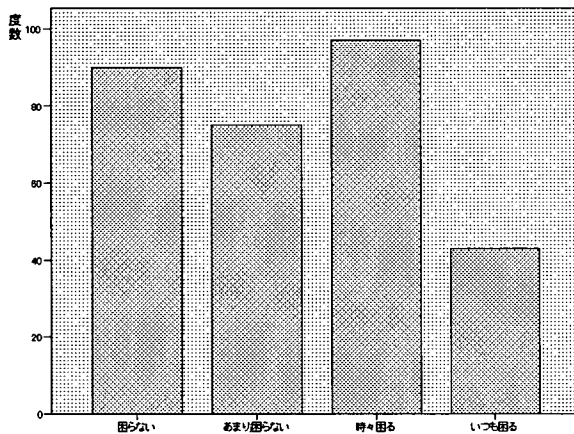


	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
困らない	122	39.0	39.9	39.9
あまり困らない	92	29.4	30.1	69.9
時々困る	76	24.3	24.8	94.8
いつも困る	16	5.1	5.2	100.0
合計	306	97.8	100.0	
欠損値	7	2.2		
合計	313	100.0		

16.精神科の診察を依頼するときに困ることはありますか。

(1 困らない 2 あまり困らない 3 時々困る 4 いつも困る)

精神科の診療は、「時々困る」31.0%が最も多く、「困る」と「時々困る」を合わせると 44.7%であった。歯科、整形外科、皮膚科の診察に比べると「困る」、「時々困る」の回答の割合が高かった。



	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
困らない	90	28.8	29.5	29.5
あまり困らない	75	24.0	24.6	54.1
時々困る	97	31.0	31.8	85.9
いつも困る	43	13.7	14.1	100.0
合計	305	97.4	100.0	
欠損値	8	2.6		
合計	313	100.0		

17 現在、自主的に学習していることがありますか。あれば簡単に記述してください。(在宅医療についての学習、介護保険制度についての学習など)

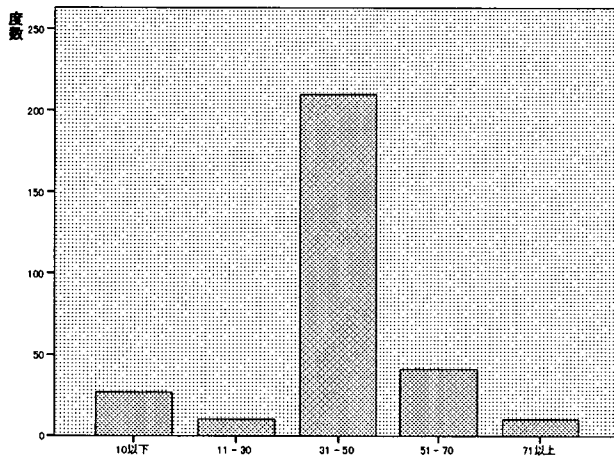
「老年医学について」(終末期医療、リハビリテーション、認知症、摂食障害、在宅医療など)との回答が最も多く、他には、「医療制度について」、「最新医学について」、「代替医療、漢方について」、「死亡時の法的問題」などが挙げられた。

18.現在、学習したいと思っていることがありますか。あれば簡単に記述してください。(在宅医療についての学習、介護保険制度についての学習等)

「在宅医療全般」との回答が最も多く、他には、「介護保険制度」「療養病床のあり方」といった制度面、「認知症」「リハビリテーション」などといった老年医学について、「頭部CT」や「経鼻内視鏡等浸襲の少ない検査」「血液浄化療法」などといった医療技術についての回答がみられた。

19.現在の仕事時間は平均して週何時間くらいですか

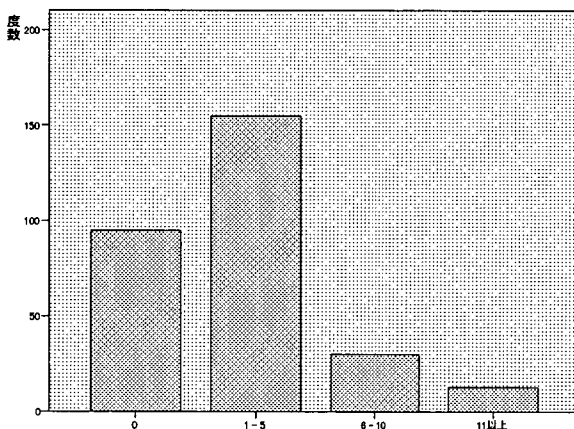
仕事時間の平均値は 41.7 時間(最小値 1 時間、最大値 85 時間)で、「31-50 時間」67.1%が最も多かった。「10 時間以下」との回答も 8.6%あった。今回の調査は常勤の医師を対象にしたものであったが、回答で「30 時間以下」と答えた医師は非常勤である可能性がある。



	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
10以下	27	8.6	9.1	9.1
11-30	10	3.2	3.4	12.4
31-50	210	67.1	70.5	82.9
51-70	41	13.1	13.8	96.6
71以上	10	3.2	3.4	100.0
合計	298	95.2	100.0	
欠損値	15	4.8		
合計	313	100.0		

20.この1ヶ月で勤務時間外に緊急で電話対応した回数は何回ですか。

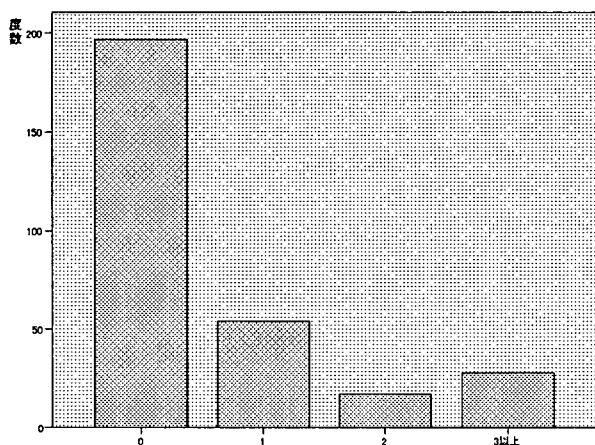
勤務時間外の電話対応の平均値は 3.5 回(最小値 0 回、最大値 60 回)で、「1-5 回」49.5%が最も多かった。次に「0 回」30.4%で、全体の約 8 割が 5 回以下であった。



	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
0	95	30.4	32.4	32.4
1-5	155	49.5	52.9	85.3
6-10	30	9.6	10.2	95.6
11以上	13	4.2	4.4	100.0
合計	293	93.6	100.0	
欠損値	20	6.4		
合計	313	100.0		

21.この1ヶ月で勤務時間外に緊急で呼び出された回数は何回ですか。

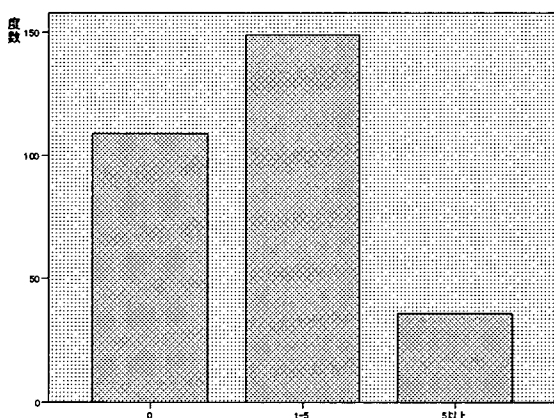
1ヶ月間の勤務時間外の呼び出し回数は、平均0.7回(最小値0回、最大値10回)で、「0回」62.9%が最も多かった。



	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
0	197	62.9	66.6	66.6
1	54	17.3	18.2	84.8
2	17	5.4	5.7	90.5
3以上	28	8.9	9.5	100.0
合計	296	94.6	100.0	
欠損値	17	5.4		
合計	313	100.0		

22.この1ヶ月で夜勤は何回ありましたか。

1ヶ月間の夜勤の回数は、平均2.7回(最小値0回、最大値16回)で、「1-5回」47.6%が最も多かった。次に「0回」34.8%で、5回以下が82.4%を占めた。



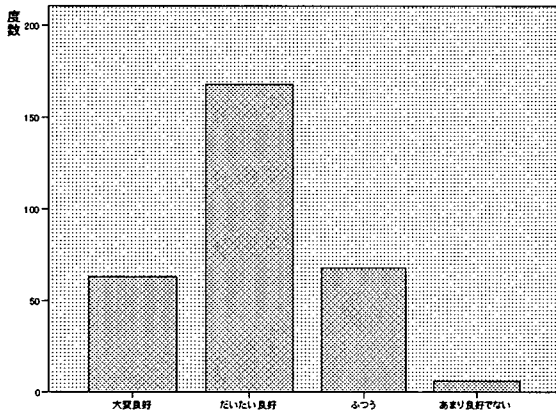
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
0	109	34.8	37.1	37.1
1-5回	149	47.6	50.7	87.8
5回以上	36	11.5	12.2	100.0
合計	294	93.9	100.0	
欠損値	19	6.1		
合計	313	100.0		



23.他の医師との関係はどうか。

(1 大変良好 2 だいたい良好 3 ふつう 4 (あまり)良好でない)

他の医師との関係は、「だいたい良好」53.7%が最も多く、「大変良好」20.1%を合わせると 73.8%であった。一方、「(あまり)良好でない」は 1.9%であった。

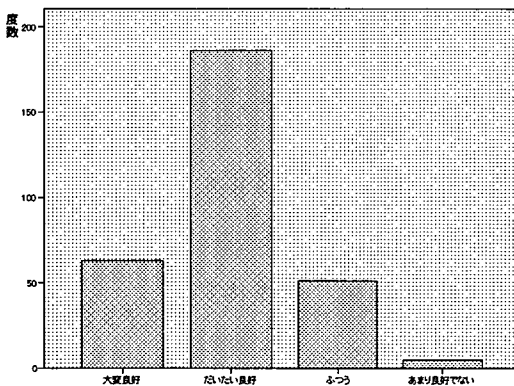


	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
大変良好	63	20.1	20.7	20.7
だいたい良好	168	53.7	55.1	75.7
ふつう	68	21.7	22.3	98.0
あまり良好でない	6	1.9	2.0	100.0
合計	305	97.4	100.0	
欠損値	8	2.6		
合計	313	100.0		

24.看護師との関係はどうか。

(1 大変良好 2 だいたい良好 3 ふつう 4 (あまり)良好でない)

看護師との関係は、「だいたい良好」59.4%が最も多く、「大変良好」20.1%を合わせると 79.5%で、医師の結果よりも若干高かった。一方、「(あまり)良好でない」は 1.6%であった。

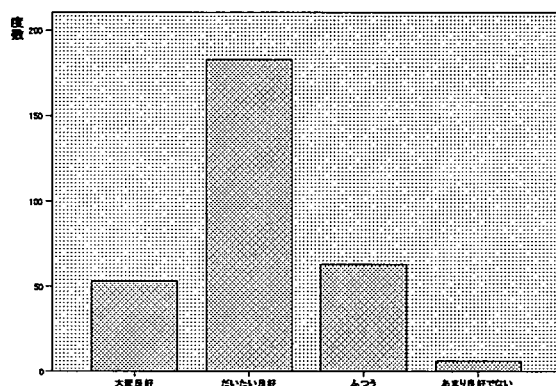


	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
大変良好	63	20.1	20.7	20.7
だいたい良好	186	59.4	61.0	81.6
ふつう	51	16.3	16.7	98.4
(あまり)良好でない	5	1.6	1.6	100.0
合計	305	97.4	100.0	
欠損値	8	2.6		
合計	313	100.0		

25.その他の職種との関係はどうか。

(1 大変良好 2 だいたい良好 3 ふつう 4 (あまり)良好でない)

その他の職種との関係は、「だいたい良好」58.5%が最も多く、「大変良好」16.9%を合わせると75.4%であった。一方、「(あまり)良好でない」は1.9%であった。



	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
大変良好	53	16.9	17.4	17.4
だいたい良好	183	58.5	60.0	77.4
ふつう	63	20.1	20.7	98.0
(あまり)良好でない	6	1.9	2.0	100.0
合計	305	97.4	100.0	
欠損値	8	2.6		
合計	313	100.0		

26.現在の勤務の中で困っていること、悩んでいることはありますか。

(1 ある 2 ない)

現在の勤務の中で困っていること、悩んでいることが「ある」と答えたのは68.7%であった。

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
ある	215	68.7	70.7	70.7
ない	89	28.4	29.3	100.0
合計	304	97.1	100.0	
欠損値	9	2.9		
合計	313	100.0		

i 「ある」を選んだ方は、次のうち主なものを選んで○をつけてください。(○は1つ)

(1.診療や書類作成など勤務の多忙さ 2.医療処置の複雑さ、頻度の高さ 3.他の施設や機関との調整 4.職員間の関係 5.他科(皮膚科、整形外科など)への相談 6.その他)

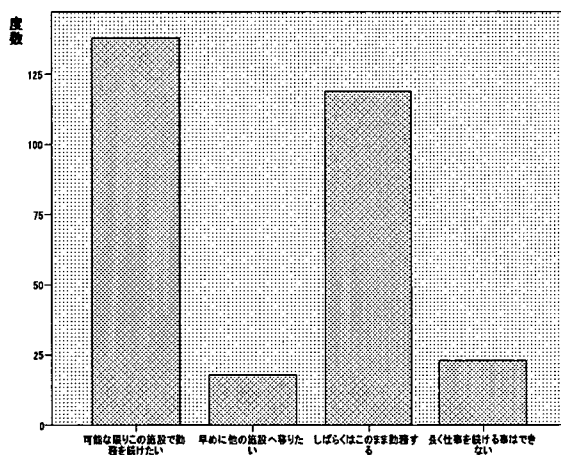
困っていること、悩んでいることは、「診療や書類作成など勤務の多忙さ」118(42.9%)が最も多く、次に「他の施設や機関との調整」48(17.5%)であった。その他では、「患者の家族への対応」、「高齢者の治療方針について」、「医療システムの構築について」、「施設への不満」、「療養病床の将来的な展望」、「通勤時間」などといった回答があった。

	度数	パーセント
診療や書類作成など勤務の多忙さ	118	42.9
他の施設や機関との調整	48	17.5
他科(皮膚科、整形外科など)への相談	31	11.3
職員間の関係	19	6.9
医療処置の複雑さ、頻度の高さ	14	5.1
その他	45	16.4
	275	100

27.今後の勤務についてのあなたの考えは次のうちどれですか。次のうち主なもの選んで○をつけてください。(○は1つ)

(1.可能な限りこの施設での勤務を続けたい 2.早めに他の施設(病院)に移りたい 3.しばらくはこのまま勤務する 4.長く仕事を続けることはできない(病気、家庭事情、年齢などのため))

今後の勤務についての考え方は、「可能な限りこの施設での勤務を続けたい」44.1%が最も多く、次に「しばらくはこのまま勤務する」38.0%で、現在の勤務を続ける意思を示したものが約8割を占めた。

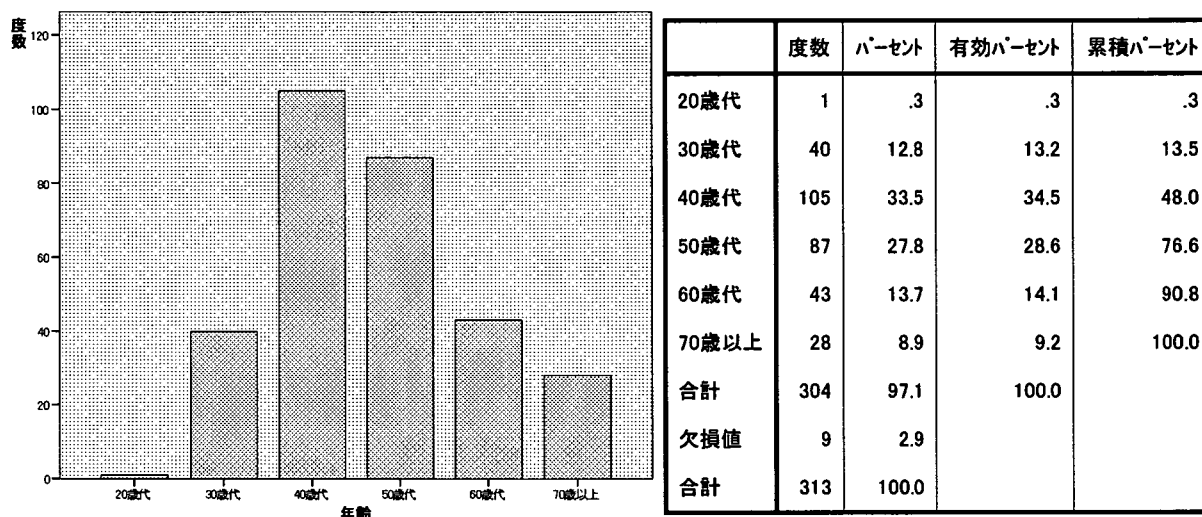


	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
可能な限りこの施設での勤務を続けたい	138	44.1	46.3	46.3
早めに他の施設(病院)に移りたい	18	5.8	6.0	52.3
しばらくはこのまま勤務する	119	38.0	39.9	92.3
長く仕事を続けることはできない	23	7.3	7.7	100.0
合計	298	95.2	100.0	
欠損値	15	4.8		
合計	313	100.0		

28.あなたの年齢をお答えください。

(1 20歳代 2 30歳代 3 40歳代 4 50歳代 5 60歳代 6 70歳以上)

医師の年齢は、「40歳代」33.5%が最も多く、以下「50歳代」27.8%、「60歳代」13.7%であった。「20歳代」は3%であった。



29.あなたの性別をお答えください。

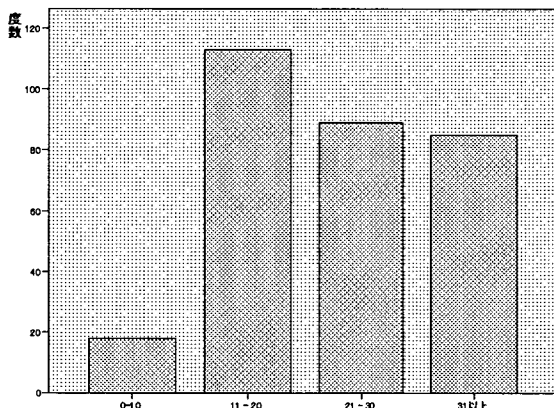
(1 男性 2 女性)

医師の性別は、「男性」が 83.4%、「女性」が 13.7%であった。

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
男性	261	83.4	85.9	85.9
女性	43	13.7	14.1	100.0
合計	304	97.1	100.0	
欠損値	9	2.9		
合計	313	100.0		

30.医師になって何年ですか。

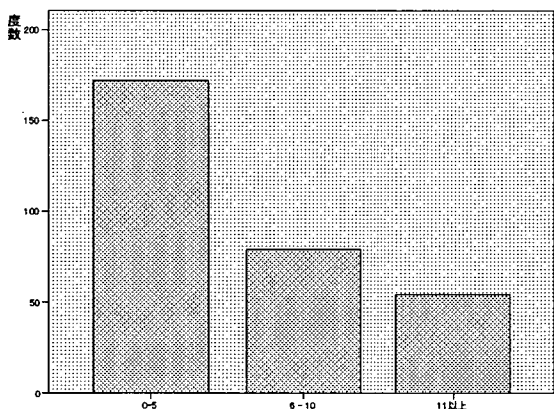
医師の医師経験年数は、平均が25.4年(最小値4年、最大値65年)で、「11-20年」36.1%が最も多く、次に「21-30年」28.4%であった。



	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
0-10	18	5.8	5.9	5.9
11-20	113	36.1	37.0	43.0
21-30	89	28.4	29.2	72.1
31以上	85	27.2	27.9	100.0
合計	305	97.4	100.0	
欠損値	8	2.6		
合計	313	100.0		

31.この施設(医療機関)での勤務年数をお答えください。

現施設での勤務年数は、平均は7.0年(最小値1年、最大値30年)で、「0-5年」55.0%が最も多く、半数以上を占めた。「11年以上」は17.3%であった。



	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
0-5	172	55.0	56.4	56.4
6-10	79	25.2	25.9	82.3
11以上	54	17.3	17.7	100.0
合計	305	97.4	100.0	
欠損値	8	2.6		
合計	313	100.0		

32.ご専門の診療科をお答えください。(内科あるいは消化器科など書き方は自由です)。

専門診療科の自由記載では、「内科」160人(54.4%)が最も多く、施設長と同様に、内科の専門領域である「循環器科」などの回答が多く、34人(11.6%)みられた。「救急」、「ホスピス科」という回答もあった。「老年科」「老年病科」など高齢者医療を直接表現する専門を挙げたものは7人(2.4%)にとどまった。

	度数		度数
内科	160	放射線科	3
外科	23	耳鼻咽喉科	2
リハビリテーション科	13	総合診療科	2
消化器科	13	泌尿器科	2
神経内科	11	麻酔科	2
循環器科	10	ホスピス科	1
精神科	9	リウマチ科	1
整形外科	9	救急	1
呼吸器科	8	消化器外科	1
老年科・老年病科	7	心療内科	1
脳神経外科	6	東洋医学科	1
産婦人科	4	透析科	1
心臓血管外科	4		合計:294

33.次のうち所属している学会すべてに○をつけてください。

- |            |                   |                   |
|------------|-------------------|-------------------|
| 1 日本内科学会   | 9 日本循環器学会         | 17 日本脈管学会         |
| 2 日本外科学会   | 10 日本精神神経学会       | 18 日本高血圧学会        |
| 3 日本老年医学会  | 11 日本整形外科学会       | 19 日本成人病(生活習慣病)学会 |
| 4 日本癌学会    | 12 日本糖尿病学会        | 20 日本認知症学会        |
| 5 日本血液学会   | 13 日本神経学会         | 21 日本動脈硬化学会       |
| 6 日本内分泌学会  | 14 日本腎臓学会         | 22 日本脳卒中学会        |
| 7 日本感染症学会  | 15 日本呼吸器学会        | 23 日本老年精神医学会      |
| 8 日本消化器病学会 | 16 日本リハビリテーション医学会 |                   |

所属学会は、「日本内科学会」143 人(31.8%)が最も多く、以下、「日本外科学会」47 人(10.5%)、「日本リハビリテーション学会」36 人(8.0%)であった。「日本老年医学会」は 35 人(7.8%)であった。なお、これら 23 学会は、日本医学会加盟及びそれに準ずる学会である。

	度数		度数
日本内科学会	143	日本老年精神医学会	9
日本外科学会	47	日本感染症学会	9
日本リハビリテーション医学会	36	日本精神神経学会	9
日本老年医学会	35	日本内分泌学会	8
日本消化器病学会	33	日本腎臓学会	6
日本循環器学会	28	日本血液学会	5
日本糖尿病学会	17	日本癌学会	4
日本呼吸器学会	15	日本高血圧学会	4
日本神経学会	14	日本認知症学会	4
日本整形外科学会	11	日本脈管学会	2
日本脳卒中学会	9	日本動脈硬化学会	1

合計: 449

34. 次のうち専門医、または認定医資格を持っている学会すべてに○をつけてください。

(選択肢: 33 と同じ)

専門医、認定医を持っている学会は、「日本内科学会」94 人(38.2%)が最も多く、以下「日本外科学会」38 人(15.4%)「日本消化器学会」20 人(8.1%)であった。「日本老年医学会」は 13 人(5.3%)であった。

	度数		度数
日本内科学会	94	日本感染症学会	5
日本外科学会	38	日本糖尿病学会	5
日本消化器病学会	20	日本脳卒中学会	4
日本老年医学会	13	日本血液学会	4
日本神経学会	13	日本内分泌学会	4
日本循環器学会	13	日本精神神経学会	3
日本リハビリテーション医学会	12	日本腎臓学会	2
日本整形外科学会	8	日本老年精神医学会	2
日本呼吸器学会	6		

合計: 246

35. 次の老年学関係の学会のうち所属しているものすべてに○をつけてください。

- |            |                |
|------------|----------------|
| 1 日本老年医学会  | 4 日本老年歯科医学会    |
| 2 日本老年社会学会 | 5 日本老年精神医学会    |
| 3 日本基礎老科学会 | 6 日本ケアマネジメント学会 |

老年学関係の学会のうち所属学会は、「日本老年医学会」38人(74.5%)と日本老年精神医学会とで48人、94%を占めた。日本老年歯科医学会、日本老年社会学会、日本基礎老科学会の3学会に所属しているものはいなかった。

	合計
日本老年医学会	38
日本老年精神医学会	10
日本ケアマネジメント学会	3

合計:51



## 2-2-2. 医師への調査結果(分散分析、およびクロス集計)

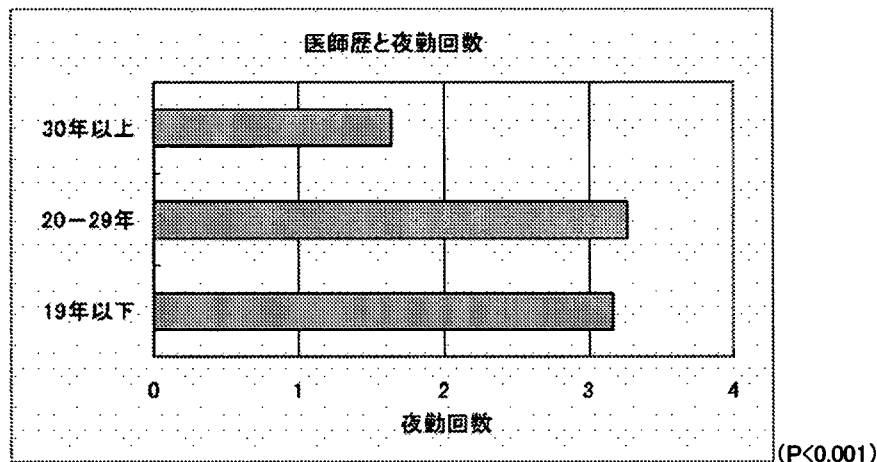
次に、施設長の分析と同様に、一元配置分散分析、およびクロス集計( $\chi^2$ 乗検定)を用いて更なる検討をするために次のような手続きを行った。医師になってからの年数については、その分布から19年以下、20-29年、30年以上の3群に区分した変数「医歴3R」を計算した。施設に勤務してからの年数については、その分布から4年以下、5-9年、10年以上の3群に区分した変数「職歴3R」を計算した。現在の施設に勤務した理由については、「高齢者医療を實踐したい」とそれ以外(「勤務条件(当直や勤務時間)が合ったから」、「勤務条件(収入)が合ったから」、「通勤に便利だったから」)に区分した「勤務理由2R」を計算した。なお、「その他」の回答のうち、広い意味で高齢者医療の實踐志向に含まれると考えられる「リハビリテーションを實踐したい」「人生に密着した医療をやりたい」「高齢者医療への取り組みに共鳴」「排泄の臨床研究をしたい」については「高齢者医療を實踐したい」に含めた。現在の職場への満足については、「はい」とそれ以外に区分した変数「職場満足2R」を計算した。今後の勤務については、「可能な限り勤務を続けたい」とそれ以外に区分した変数「勤務継続2R」を計算した。

高齢者医療で重要と思う点については、頻度の高かった「認知症の知識とケア」「総合評価の下のチーム医療」「在宅医療との連携」「ケアの継続性と一貫性」「ターミナルケアの考え方と実践」の5項目について、所属学会と専門医資格については、日本内科学会と日本老年医学会の2学会についてのみ分析を行った。他に、「高齢者医療の現状について」「療養病床再編について」「後期高齢者医療制度について」「学習時間の確保」「機能評価の実施」「チーム会議の実施状況」「チーム医療実践」「歯科診察依頼の困難」「整形外科診察依頼の困難」「皮膚科診察依頼の困難」「精神科診察依頼の困難」「他の医師との関係」「看護師との関係」「他職種との関係」「悩みの有無」についての回答を分析した。また、「年間の学会参加回数」「年間の院内研修参加回数」「一週間の仕事時間」「勤務時間外の電話対応数」「勤務時間外の呼出回数」「夜勤回数」については実際の数の記入データを分析した。

先に求めた「医歴3R」、「職歴3R」、「勤務理由2R」、「職場満足2R」、「勤務継続2R」の5変数と、上記のさまざまな変数との一元配置分散分析、およびクロス集計( $\chi^2$ 乗検定)を行った。以下では、それらの結果の中から、主なものについて示す。

### 1. 医師歴との関連について

医師歴はほとんどの変数と有意な関連を認めなかった。医師歴30年以上の医師は、夜勤回数が少なく、医師歴19年以下の療養病床勤務医師は女性が多かった。



医師歴と性別

		性別		
		男性	女性	合計
19 年以下	度数	80	24	104
	%	76.9%	23.1%	100.0%
医師歴 20-29 年	度数	90	9	99
	%	90.9%	9.1%	100.0%
30 年以上	度数	91	10	101
	%	90.1%	9.9%	100.0%
合計	度数	261	43	304
	%	85.9%	14.1%	100.0%

(P<0.005)

### 2. 勤務歴との関連について

現在の施設(病院)に勤務してからの年数についても、他の変数との関連はまったくみられなかった。

### 3. 勤務理由との関連について

現在の施設(病院)に勤務した理由に「高齢者医療の実践」をあげたものは、「後期高齢者医療制度改革への考え方について」賛成と反対の両極に二分され、「学習時間の確保」はされており、「精神科診察依頼」に困ることは少なく、日本老年医学会への所属、専門医資格保有が多かった。

その他、高齢者医療で重要と思う点、「療養病床再編について」「高齢者医療の現状について」「機能評価の実施状況」「チーム会議の実施状況」「チーム医療実践」などについては、関連を認めなかった。

現在の施設に勤務した理由と後期高齢者医療制度改革への考え方

		後期高齢者医療制度改革への考え方					合計
		賛成	どちらかという賛成	どちらかという反対	反対		
現在の施設 (病院)に勤務 した理由	それ以外	度数	1	44	101	68	214
		%	0.5%	20.6%	47.2%	31.8%	100.0%
	高齢者医療 の実践	度数	5	15	29	29	78
		%	6.4%	19.2%	37.2%	37.2%	100.0%
合計		度数	6	59	130	97	292
		%	2.1%	20.2%	44.5%	33.2%	100.0%

(P<0.01)

現在の施設に勤務した理由と学習時間の確保

		学習時間の確保				合計	
		確保できている	どちらかという 確保できている	どちらかという 確保できていない	確保できて いない		
現在の施設 (病院)に勤務 した理由	それ以外	度数	63	82	52	29	226
		%	27.9%	36.3%	23.0%	12.8%	100.0%
	高齢者 医療 の実践	度数	30	28	17	2	77
		%	39.0%	36.4%	22.1%	2.6%	100.0%
合計		度数	93	110	69	31	303
		%	30.7%	36.3%	22.8%	10.2%	100.0%

(P<0.05)

現在の施設に勤務した理由と精神科診療依頼

		精神科診療依頼				合計	
		困らない	あまり困らない	時々困る	いつも困る		
現在の施設 (病院)に勤務 した理由	それ以外	度数	56	59	78	34	227
		%	24.7%	26.0%	34.4%	15.0%	100.0%
高年齢者医療 の実践		度数	34	16	19	9	78
		%	43.6%	20.5%	24.4%	11.5%	100.0%
合計		度数	90	75	97	43	305
		%	29.5%	24.6%	31.8%	14.1%	100.0%

(P<0.05)

現在の施設に勤務した理由と日本老年医学会への所属

		日本老年医学会		合計	
		所属していない	所属している		
現在の施設 (病院)に勤務 した理由	それ以外	度数	154	20	174
		%	88.5%	11.5%	100.0%
高年齢者医療 の実践		度数	40	15	55
		%	72.7%	27.3%	100.0%
合計		度数	194	35	229
		%	84.7%	15.3%	100.0%

(P<0.01)

現在の施設に勤務した理由と日本老年医学会の専門医取得

		日本老年医学会専門医		合計	
		取得していない	取得している		
現在の施設 (病院)に勤務 した理由	それ以外	度数	116	4	120
		%	96.7%	3.3%	100.0%
高年齢者医療 の実践		度数	30	9	39
		%	76.9%	23.1%	100.0%
合計		度数	146	13	159
		%	91.8%	8.2%	100.0%

(P<0.001)